

PAT-NO: JP401171403A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 01171403 A
TITLE: SEEDING PAPER OF GERMINATION
PROMOTION
PUBN-DATE: July 6, 1989

INVENTOR-INFORMATION:
NAME
MASUBUCHI, MAKOTO

ASSIGNEE-INFORMATION:
NAME COUNTRY
MASUSHIGE TEKKO KK N/A

APPL-NO: JP62330553
APPL-DATE: December 26, 1987

INT-CL (IPC): A01C001/04
US-CL-CURRENT: 47/56

ABSTRACT:

PURPOSE: To enable seeding at equal intervals and to eliminate fertilization from seeding to germination, by laying seeds equipped with fertilizer around the seeds in water-soluble paper at equal intervals and setting a separating means at intermediate parts between the seeds to form seeding paper of germination promotion.

CONSTITUTION: Seeds 2(2<SB>1</SB>...2<SB>n</SB>) and fertilizer 3(3<SB>1</SB>...3<SB>n</SB>) around the seeds

2(2<SB>1</SB>...2<SB>n</SB>) are
arranged on water-soluble paper 1 at equal intervals
longitudinally and
latitudinally, respectively and water-soluble paper 1' is
bonded to the
water-soluble paper with a polymerized binder in an
integrated way. For
example, a perforation 4 is made at longitudinal and
lateral intermediate parts
between the seeds as a separating means to give seeding
paper 5 of germination
promotion. Consequently, the seeds can be surely seeded at
equal intervals and
fertilization is eliminated from seeding to germination.

COPYRIGHT: (C)1989,JPO&Japio

⑫ 公開特許公報(A) 平1-171403

⑤ Int.Cl.⁴

識別記号

庁内整理番号

④ 公開 平成1年(1989)7月6日

A 01 C 1/04

A-6838-2B

審査請求 未請求 発明の数 2 (全3頁)

⑭ 発明の名称 発芽促進播種紙

⑮ 特 願 昭62-330553

⑯ 出 願 昭62(1987)12月26日

⑰ 発 明 者 増 渕 誠 神奈川県横須賀市佐原5丁目5番1号

⑱ 出 願 人 増重鉄工株式会社 東京都大田区東六郷2丁目2番14号

明 細 書

1. 発明の名称 発芽促進播種紙

2. 特許請求の範囲

1. 周辺に種子の発芽に要する窒素、燐酸加里、澱粉からなる肥料を設けられた種子を水溶紙に等間隔で縦横に配包置せしめると共に、種子間の中間部に切離し手段を設けてなることを特徴とした発芽促進播種紙。

2. 種子の発芽に要する窒素、燐酸加里、澱粉からなる肥料を全体に浸透担持せしめた水溶紙間に等間隔で縦横に配包置せしめると共に種子間の中間部に切離し手段を設けてなることを特徴とした発芽促進播種紙。

3. 発明の詳細な説明

4. 産業上の利用分野

この発明は、農業及び園芸用の発芽促進播種紙に関する。

B. 従来の技術

従来、種子を手で苗床、畝に播種した後発芽に必要な施肥をする技術は、古くから一般に知られ、行われている。

A. 発明の解決しようとする問題点

種子を手で苗床、畝に播種すると、播種の数と、種子間の間隔に不揃えを生ずる為播種時に手加減をしなければならない煩わしさがあつた外、播種後発芽までの間に発芽に必要な施肥をしなければならないと言う問題点があつた。

二. 問題を解決するための手段

第1発明は、周辺に種子の発芽に要する肥料の設けられた種子を、水溶紙に等間隔で縦横に配包置せしめると共に、種子間の中間部に切離し手段を設けて、発芽促進播種紙とした事を技術的手段とする。

第2発明は、種子の発芽に要する肥料を全体に浸透担持せしめた水溶紙間に等間隔で縦横に配包置せしめると共に、種子間の

中間部に切離し手段を設けて発芽促進播種紙とした事を技術的手段とする。

お. 作用

種子は前記したように、水溶紙に肥料と共に等間隔で縦横に配包置されている関係上、等間隔で播種される外、播種後は土中の水分、外部よりの雨水及び散水等により自然に水溶紙と肥料とは土中に溶ける結果種子の発芽は促進される。

ハ. 実施例

この発明を図の実施例により詳記すると
1、1'は水溶紙（例えば、商品名デイスルボWA30、MDP180WA）。
2、(2, ... 2_n)は種子。3(3, ... 3_n)は窒素、磷酸加里、及び澱粉等よりなる肥料である。水溶紙1上に、種子2、(2, ... 2_n)と其の種子2、(2, ... 2_n)の周辺に肥料3(3, ... 3_n)とを夫々縦横に等間隔で配置した上に、水溶紙1'を重合層で一体に接合せしめると共に、種子間の縦横中間部に切離

し可能な手段としての例えばミシン目4を縦横に設けて、発芽促進播種紙としたものである。

前記した実施例では、種子2(2...2)の周囲に粉末状の肥料3(3...3)を設けた発芽促進播種紙について詳記したが、第三図に示すように、液体状の肥料3を前記した水溶紙1、1'に塩布浸透担持せしめて発芽促進播種紙5としても、又第四図示のように、肥料3を全体に浸透担持せしめた水溶紙1、1'に前記したように種子2(2, ... 2_n)を、等間隔で縦横に配包置せしむるようにしても、前記したと同様に之れを実施することが出来る。

ト. 発明の効果

この発明による発芽促進播種紙によると、苗床、又は畑の土壌上に本発明の発芽促進播種紙を敷置することにより、種子を確実に等間隔で播種することが出来て、従来の播種のように、手加減する煩わしを完全に除

去し得るばかりでなく、播種から発芽までの間に施肥をする必要が全く必要としない外、播種された種子の発芽は周囲の土壌に浸透された肥料により発芽が促進されるばかりでなく、苗床及び播種しようとする畑等の大きさ、又は形状に適合するように発芽促進播種紙を簡単に切離して使用に供することが出来る等、そのもたらす効果は極めて多大である。

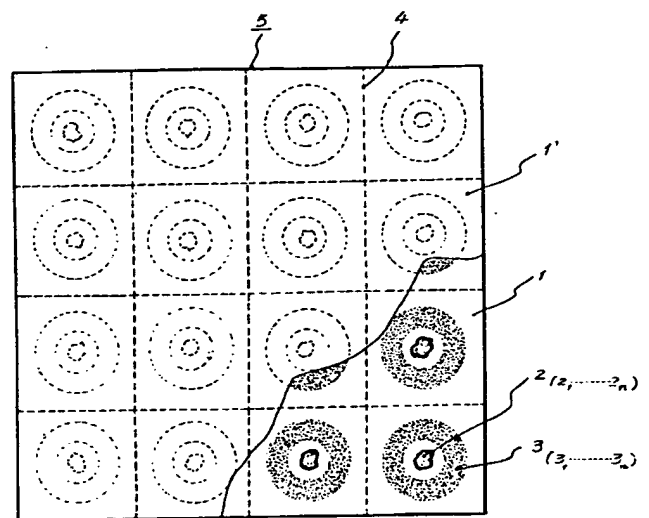
4. 図面の簡単な説明

図面は本発明の実施例であつて、第一図は一部を切欠いで示した平面図、第二図は一部の拡大側面図、第三図と第四図は他の実施例の一部を切欠いで示した平面図である。
1、1'...水溶紙、2, ... 2_n...種子、3(3, ... 3_n)...肥料、4、...ミシン目、5、...発芽促進播種紙。

特許出願人

増重鉄工株式会社

第一図



第二図

